



の引き合いがあった。さらに、AI搭載版5G端末に対しては、端末上でのAI処理による現場への即時フィードバックやクラウドとの負荷分散について肯定的な意見をいただいた。また、米国やインドにおけるミリ波FWA(固定無線アクセス)の広がりも追い風となり、今後のグローバル展開に対する期待も高まっていることが感じられた。今回の出展で得た顧客とのつながりや貴重な意見を生かして、弊社端末の実用化及び産業現場のDX化を進めていきたい。

一方、DASについては、ミリ波に対応していること自体が希少でかつ超小型化した子機(アンテナ含む)に対して数多くの関心の声をいただき、海外大手のシェアリング会社様は初めてミリ波対応DASをご覧になられ興奮されている様子であった。また、弾力性のあるボールなどを握るアクチュエータをDASを介して遠隔操作するデモも評判が良く、低遅延化の要素技術の1つであるアナログRoFについ

て説明を求める反応を多くいただいた。ミリ波DASはまだ開発中であるため、製品化時期や具体的な仕様、子機の設置方法など来場者と意見交換し、今後の方向性を検討するのに有益な情報が得られた。これらの展示、対話を通じ、国内外の潜在顧客との接点構築に成功した。展示会後も対話を継続しており、5Gミリ波のユースケースを創出し、弊社製品の需要につなげていきたい。

4. おわりに

弊社はMWC2025のJapan Pavilionに産業用5G端末、AI搭載版端末及びDASを出展し、数多くの来場者と対話し、新たな需要、継続的な顧客との対話機会を得た。今回、展示会場への機材持込み、展示ブースの設計、ミリ波電波発射の事前調整などにおいて日本ITU協会の多大なるご協力をいただいた。この場を借りて感謝を申し上げる。

速報

第28回万国郵便大会議の結果—目時氏再選!—

第28回万国郵便大会議は、9月8日(月)から万国郵便連合(UPU)の加盟国の代表等が参加し、UPUにおける重要事項の審議を行うため、アラブ首長国連邦のドバイで開催され、日本ITU協会は日本事務局を務めました。

会議では、国際事務局長・次長、管理理事会(CA(Council of Administration))・郵便業務理事会(POC(Postal Operations Council))理事国選挙が実施され、国際事務局長選挙で目時氏は再選を果たしたほか、日本国はCA・POC理事国に立候補し、当選しました。詳細は下記URLをご覧ください。

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu14_02000163.html



■選挙会場での目時氏